

No.	区分	委員によるご意見
1	○現計画の進捗状況等について	<p>(山本委員) 「育児支援家事援助事業」について、魅力的な事業だと思うが、実績が3世帯で延べ27回となっており、対象世帯数は多くないように思うが、どのような事業なのか。</p> <p>【ご意見に対する回答】(事務局) 今年度は3世帯を超える利用があり、もう少し需要はあるかと思いますが、さまざまな機関が関わる中で、このご家庭にはしっかりとした支援が必要という場合にご紹介する形をとっています。</p>
2	○現計画の進捗状況等について	<p>(藤村委員) 学童保育の指導員について、これまでは、保育士や社会福祉士などの資格が必要で、都道府県の行う研修を受けることを条件としていたものが、今後は、地方の裁量で基準の緩和が可能と聞いたが、枚方市としてはどのように課題認識しているのか。 子どもたちをみる人が経験者でなくてもよいという方向に行かないように、最前線で子どもたちを見守っていることの意義を踏まえて対応すべきと考える。</p> <p>【ご意見に対する回答】(事務局) 枚方市では、これまでの国が定めている基準で支援員等を配置しており、今後も同様に継続していく予定です。</p> <p>(安藤会長) 基準について市町村の裁量となるということで、枚方市でできる範囲で、支援員の確保策なども含めて総合的に捉え、学童保育の質が悪くなる方向ではなく、良くする方向で議論されることが重要と考える。</p>
3	○現計画の進捗状況等について	<p>(山本委員) 「子どもの未来応援コーディネーター」について、学校現場での子どもの課題と福祉制度をつなぐ支援を行っているということだが、就学後だけでなく、就学前にも積極的に対象を広げ、育児支援などの事業を周知できればよいと考える。</p>
4	○現計画の進捗状況等について	<p>(藤村委員) 現在では、貧困が不登校につながるなど、さまざまな事例がある中で、学校の先生に相談できないケースもあると思う。このような支援が必要な家庭に対し、どのようにアプローチし、状況把握した上で支援していくかが、今後の課題だと考える。</p>
5	○現計画の進捗状況等について	<p>(山本委員) 資料からは、幼稚園の定員割れの状況が伺えるが、今後の全体像について、どのように見込んでいるのか。</p> <p>【ご意見に対する回答】(事務局) 少子化の進行、また、保育所等での保育を必要とされる方の割合が高くなっていることもあり、定員割れしている幼稚園があるのが現状です。今後、幼児教育・保育の無償化の影響なども踏まえ、幼稚園の需要も含めた教育・保育の全体の動向について慎重に見込んでいく必要があると考えています。</p>

No.	区分	委員によるご意見
6	○第2期計画の策定に係る ニーズ調査について	<p>(北山委員：事前意見) 子どもの発達についての質問を追加すべきではないか。</p> <p>【ご意見に対する回答】（事務局） 就学前調査と小学生調査について、発達の悩みに関する項目を追加し、より悩みの詳細をお伺いすることとしました。</p>
7	○第2期計画の策定に係る ニーズ調査について	<p>(石田副会長) 無作為抽出すると、複数の子どもがいる家庭に、複数の調査票が届く場合があるのではないか。</p> <p>【ご意見に対する回答】（事務局） 現時点では、世帯に複数の調査票を送る可能性はあります。→（対応）就学前児童・小学生調査については、重複しないように抽出する対応を行いました。</p>
8	○第2期計画の策定に係る ニーズ調査について	<p>(石田副会長) 聞きたいことをなんでも聞くと回収率が下がると思うので、十分に精査すべきと考える。</p> <p>【ご意見に対する回答】（事務局） 国必須の設問は外せませんが、府・市の追加設問を減らせるか検討します。→（対応）就学前児童調査について、市独自等の調査項目について見直し、前回の85問の設問数を77問に整理しました。また、全調査において、回収率が少しでも上がるよう、文字を大きくしたり間隔を広げるとともに、QRコードを封筒に印刷したり、調査票に市章を入れるなどの工夫を行いました。</p>
9	○第2期計画の策定に係る ニーズ調査について	<p>(山本委員) 自営業者や会社役員等は育児休業を取らないので、選択肢等の記載方法を考えてほしい。</p> <p>【ご意見に対する回答】（事務局） 記載方法について検討します。→（対応）自営業や会社役員等の育児休業制度がない方の選択肢を追加しました。</p>
10	○第2期計画の策定に係る ニーズ調査について	<p>(山本委員) 障害のあるお子さんがおられる家庭への調査項目も必要だと思う。例えば、医療的なケアが必要なお子さんの保育のあり方の検討につながれると考える。</p> <p>【ご意見に対する回答】（事務局） 障害者施策の部署が障害児を対象にした計画策定等の取組みをしており、庁内で連携しながら検討していきます。</p> <p>(石田副会長) 市町村では障害児計画をつくっていると思うので、それとの整合性を図っていくことが、本計画をつくる際の課題になると思う。</p>

No.	区分	委員によるご意見
11	○第2期計画の策定に係る ニーズ調査について	<p>(長岡委員) お子さんと同居している人などは何を意図した質問なのか。ひとり親家庭を把握するためか。</p> <p>【ご意見に対する回答】(事務局) 国が示す目標事業量の算出方法において「ひとり親家庭」のニーズを把握する必要があるためこの選択肢としています。また、本計画においても、ひとり親家庭への自立支援について推進していることから、世帯構成としてひとり親世帯の把握は必要と考えています。</p>
12	○第2期計画の策定に係る ニーズ調査について	<p>(石田副会長) 選択肢に「専業主婦」と表記があるが「主夫」も追加するなどの配慮が必要なのではないか。</p> <p>【ご意見に対する回答】(事務局) 表記について整理します。→(対応)「家事専業」という表記に改めました。</p>

<分科会後の委員からのご意見>

No.	分野	委員によるご意見
13	○第2期計画の策定に係る ニーズ調査について	<p>(北山委員) 幼稚園ニーズを知る上で、幼稚園を利用している方に対して、0~2歳児の時にどのように過ごしていたのかを把握する必要があるのではないか。</p> <p>【ご意見への対応】(事務局) 幼稚園児調査において、入園前に在宅で子育てをされていたのか、または、保育サービスを利用していたのか等について確認する質問を追加しました。</p>